資料１

平成27年12月31日現在

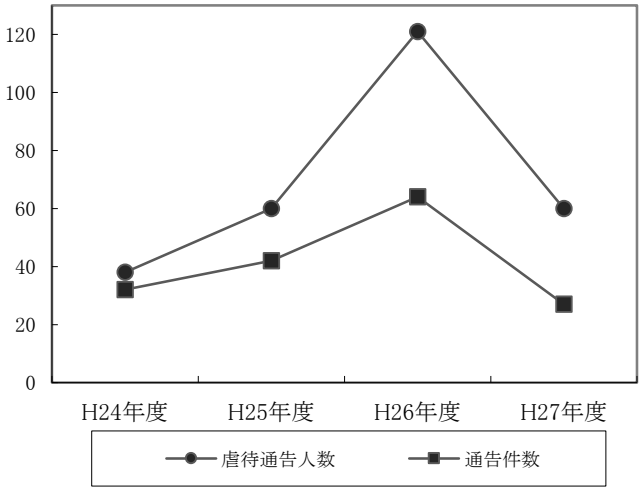
伊那市における子どもを守るネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の現状及び課題

A．虐待通告の現状

1）　年度別通告数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
虐待通告人数	38	60	121	60
通告件数	32	42	64	27

〈伊那市の年度別通告数〉



2）　H27年度虐待通告内訳

＜虐待種別通告人数＞

身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	計
8	26	1	25	60

＜通告経路別件数＞

児相	市町村	保育園	学校	家族・親戚	近隣・知人	本人	その他	計
13	5	4	15	2	12	0	9	60

＜虐待相談の主な虐待者の人数＞

主な虐待者	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	合計
相談人数	26	1	31	0	2	60

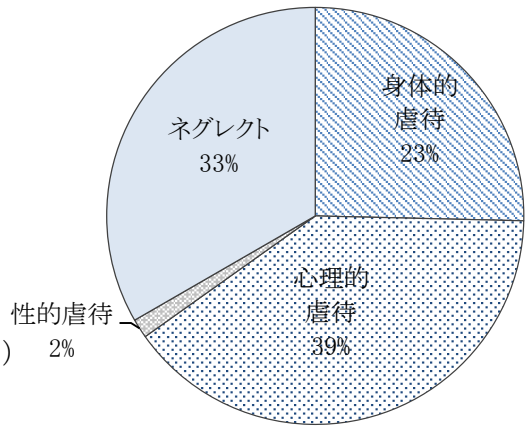
B．要保護児童進行管理表

１．要保護（要支援）の人数

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
要保護児童数	189	172	129	157
要保護家庭数	109	97	77	87
要支援児童				46
特定妊婦			4	2
(母子父子家庭)	(52)	(46)	(56)	(56)
ケース支援会議開催数	258	299	286	131

ケース支援会議　64家庭開催（17家庭は家族参加あり）
児童相談所参加率8割

〈要保護になった理由〉



２．被虐待者の年令・相談種別人数

（要保護児童157人に対する延べ人数　相談種別が重複しているため）

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト
0～３才未満	3	16	0	9
3～学齢前児童	7	15	0	13
小学生	23	32	1	30
中学生	13	15	1	10
高校生・その他	5	2	1	5
合　計	51	80	3	67

３．年齢別要保護児童数（実人員）

	男	女	合計
0～3歳	10	16	26
3歳～6歳	5	9	14
小学生	18	26	44
中学生	38	17	55
高校生・その他	11	7	18
合計	82	75	157

４．主たる加害者　（人数）

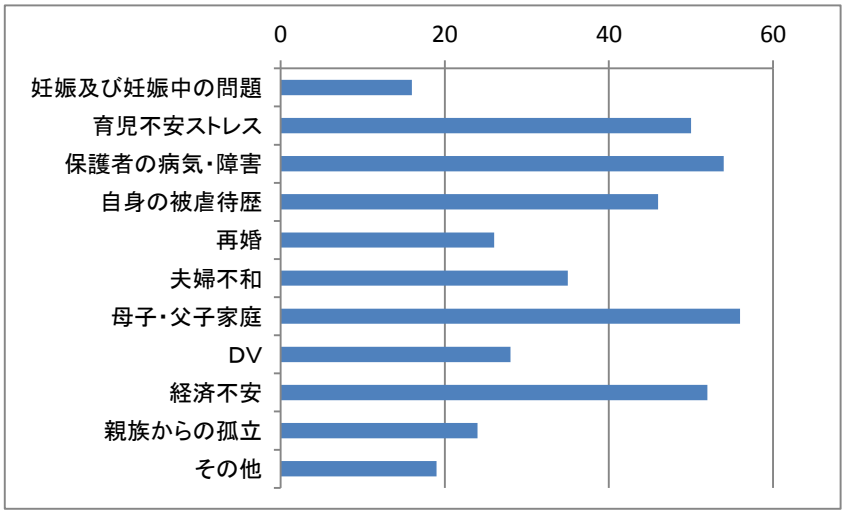
実母	実父	その他	合計
94	41	22	157

５．地域との交流　（人数）

ほとんどない	乏しい	ふつう	合　計
55	66	36	157

６．子ども側のリスク要因（実人員）

発達障害あり	何らかの育てにくさ	なし	合　計
31	72	54	157



７．保護者及び養育環境のリスク要因（延べ人数）

妊娠及び妊娠中の問題	育児不安ストレス	保護者の病気・障害	自身の被虐待歴	再婚	夫婦不和	母子・父子家庭	DV	経済不安	親族からの孤立	その他
16	50	54	46	26	35	56	28	52	24	19

８．処理別人数

処　理	児童施設入所	里親委託	ファミリーホーム	在宅
対応人数	24	1	4	128

９．主担当別

児童相談所：７３　　市町村：８４